



検査のとびら



作成 2024年5月 検査室

発行 つくしが丘病院検査室・医療安全管理室

便の検査について

便はどこで作られるの？

食べ物は、口から食道、胃をとおり、十二指腸から小腸をぬけ大腸をまわり、直腸へと流れて行く間に消化吸収され、残ったものが肛門から大腸菌の残骸と一緒に便となって出てきます。その途中で腔が狭くなっていたり、出血や炎症があると便の色や形、内容に異常が現れます。

便の色と形

健康な便

大きさ、長さともバナナ大
色は茶色～茶褐色

表面滑か、リゼーザ状

出血の可能性

潰瘍、腸炎、痔、がん

黒色の便、タール様の便
血の混じった便、細い便、便秘
鹿のフン様、下痢の緑り返し

黒色 タール状
血液の混入 3000状

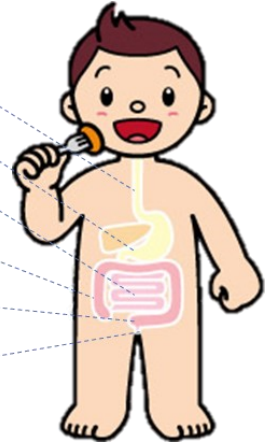
炎症の可能性

食中毒、細菌感染
アレルギー

下痢便、水様便、泥状便
粘液便、イチゴ状便

ふにゃふにゃ 泥状
固形物なし、液状

《便が出来るまで》



参考資料：みんなの臨床検査 www.jpclt.orgより

どうして便の色で出血があるか判るの？

便を用いた検査

便潜血検査

胃や大腸に出血があると便に血液（ヘム）が混じります。この検査は便の中のヘム量を測定するもので、目に見えない出血が判ります。潰瘍、がん、ポリープ、痔などで出血があると検出され高値となります。



胃や十二指腸の上部消化管内で出血があると、ヘムグロビンが胃酸による変性や酸化することで黒色になる。そして、その出血が続くとタール状の黒色便となるんじゃ。また、肛門に近い大腸や痔からの出血では、変性が少ないので鮮やかな赤い色をしておるぞ！
タール便が出たら早急に医療機関を受診するんじゃ！（胃や十二指腸での止血が必要なこともあるからの～）

感染症検査 細菌培養検査

下痢や腹痛の原因を調べる検査です。便を培地に塗り病的な菌がないかを調べます。細菌が生えるまで時間がかかるため判定に数日かかります。但し、ロタウイルス（*O-157、アデノウイルスなど）はイムノクロマト法で約30分ほどで結果がでます。

*当院では院内実施していない。

寄生虫検査

便の中の寄生虫や原虫を見つける検査です。中体や原虫、虫卵を見つけるには便を薄く伸ばして直接、顕微鏡で見て探します。

どうしてドック等では2回検査するの？（潜血検査）

A：がんなどでは、出血する時とそうでない時があります。また、便中のヘムグロビンは壊れやすく不安定で、便の採り方や採便してから時間で陰性や低値となることがあります。そのため、ドック等ではよりの確な判断をする必要があるため、採取日を替えた2回の検査をします。指定の採便方法に従い採取し、採取してから3日以内の提出が必要です。



便潜血検査のための採便方法と検体量

Point!

採便のしかた

・失敗の少ない簡単な採便法（和式/洋式ともOK）

①通常のスタイルで便器に座る。

②排便途中で一度、多めのトイレットペーパーで肛門をつかむような感じで拭きとる。

・先っぽがのぞいたら～ そのときフキフキ！

・そうすると多めの便がトイレットペーパーに付着する。

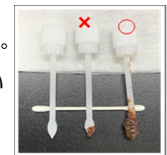
③付着した便から採便スティックで必要な量を採取して、ケースに入れます*。



便潜血検査に必要な検体量

・小指の第一関節の半分（約1mL）位。

・採取後はケースに入れて漏れないようにキャップをしっかり閉める。



*採便のしかた・検体量は当院の例です。便潜血の試薬により、採便法が異なりますので、検査の時には説明書に従ってください。

問合せ先：検査室 佐藤まで